

発行日:2018年4月10日

安全データシート

1.化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称:スキトル A

製品番号(SDS NO):09679002-1

供給者情報詳細

供給者:life-rary 合同会社

住所:神奈川県横浜市南区最戸 1-21-31

電話番号:045-308-2202

F A X:045-710-1352

緊急連絡先電話:045-308-2202

2.危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 2

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

吸引性呼吸器有害性:区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分 2

水生環境有害性(長期間):区分 2

GHS ラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱後は汚染箇所をよ<洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 漏出物を回収すること。
- 特別な処置が必要である。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深<洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続<場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 無理に吐かせないこと。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
トリメチルベンゼン(混合物)	10 - 20	25551-13-7	3-7:3-3427
エチルベンゼン	10 - 20	100-41-4	3-28:3-60
キシレン(異性体混合物)	5-10	1330-20-7	3-3:3-60
酢酸 n-ブチル	5-10	123-86-4	2-731

4.応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深<洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5.火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。

断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

関係者以外は近づけない。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

換気の良い場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

直射日光を避ける。

冷暗所にて保管

8.ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(エチルベンゼン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(酢酸 n-ブチル)

日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³

(キシレン(異性体混合物))

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(エチルベンゼン)

ACGIH(2010) TWA:20ppm (上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

(酢酸 n-ブチル)

ACGIH(2015) TWA:50ppm

STEL: 150ppm (眼および上気道刺激)

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH(1992) TWA:100ppm

STEL: 150ppm (上気道および眼刺激;中枢神経系損傷)

(トリメチルベンゼン(混合物))

ACGIH(1970) TWA:25ppm (中枢神経系損傷、喘息、血液影響)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋および保護衣を着用する。

顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよ<洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9.物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色透明

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点:≥126.0C

引火点:≥25.0C

比重/密度:0.8132(20 C)

溶解度

水に対する溶解度：不溶

10.安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11.有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800 mg/kg (NITE 有害性評価書, 2008)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

rabbit LD50=1700 mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor:rat LC50=4000 ppm/4hr(PATY 6th, 2012)

(キシレン(異性体混合物))

vapor:rat LC50=6350 - 6700 ppm/4hr (NITE 有害性評価書, 2008)

労働基準法:疾病化学物質

酢酸 n-ブチル;キシレン(異性体混合物)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

ラビット紅斑,浮腫,壊死(NITE 有害性評価書, 2008)

(トリメチルベンゼン(混合物))

動物一次刺激性(ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット軽度の刺激性(EHC 186, 1996)

(酢酸 n-ブチル)

ラビット 48 時間後に回復(SIDS, 2009)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット軽度から中等度の刺激性(NITE 有害性評価書, 2008)

(トリメチルベンゼン(混合物))

眼刺激性(HSDB, 2014)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

IARC (2000) 2B et al

(エチルベンゼン)

IARC-Gr.2B:ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン(異性体混合物))

IARC-Gr.3:ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(2010):確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4C1992):ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B:人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]
(エチルベンゼン) cat.1B;産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014

(キシレン(異性体混合物)) cat.1B; ATSDR, 2007

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分 1]

[日本公表根拠データ]
(キシレン(異性体混合物))中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓(NITE 有害性評価書, 2008)

[区分 3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
(トリメチルベンゼン(混合物))気道刺激性(HSDB, 2014)
(エチルベンゼン)気道刺激性(環境省リスク評価第 13 巻,2015)
(酢酸 n-ブチル)気道刺激性(CICAD 64 2005)

[区分 3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
(トリメチルベンゼン(混合物))麻酔作用(ACGIH 7th, 2001)
(エチルベンゼン)麻酔作用(ATSDR, 2010)
(キシレン(異性体混合物))麻酔作用(NITE 有害性評価書, 2008)
(酢酸 n-ブチル)麻酔作用(CICAD 64 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分 1]

[日本公表根拠データ]
(トリメチルベンゼン(混合物))中枢神経系,呼吸器(環境省リスク評価第 11 巻, 2013)
(キシレン(異性体混合物))神経系、呼吸器 (NITE 有害性評価書, 2008)

[区分 2]

[日本公表根拠データ]
(エチルベンゼン)聴覚器(ACGIH 7th, 2011)

吸引性呼吸器有害性

[区分 1]

[日本公表根拠データ]
(トリメチルベンゼン(混合物)) cat.1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 8.9 mm²/s (1,3,5-trimethylbenzene)
(エチルベンゼン) cat.1; hydrocarbon, kinematic viscosity-0.738 mm²/s (25°C)

12.環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類(ペイシュリンブ) LC50=0.42 mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2007)

(酢酸 n-ブチル)

魚類(ファットヘッドミノー)LC50=18 mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(キシレン(異性体混合物))

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(トリメチルベンゼン(混合物))

甲殻類(グラスシュリンブ) LC50=5.4mg/L/96hr (AQUIRE, 2003)

水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類(ネコゼミジンコ) NOEC = 0.956 mg/L/7 days (環境省リスク評価第 13 巻, 2015)

水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)

(酢酸 n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2003)

(トリメチルベンゼン(混合物))

非常に溶けにくい(ICSC, 2002)

残留性・分解性

(酢酸 n-ブチル)

急速分解性があり(BODによる分解度:98%, SIDS, 2009)

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性がなく(BODによる分解度:39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(エチルベンゼン)

急速分解性がなく(良分解性;標準法におけるBODによる分解度:0%(通産省公報, 1990))

(トリメチルベンゼン(混合物))

1,3,5-トリメチルベンゼン_BODによる分解度:0%(既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(トリメチルベンゼン(混合物))

log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002); BCF=328(1,3,5-トリメチルベンゼン:既存化学物質安全性点検データ)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)

(酢酸 n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP Database, 2009)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

13.廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号:1263

品名(国連輸送名):

塗料又は塗料関連物質

国連分類(輸送における危険有害性クラス): 3

容器等級: III

指針番号:128

特別規定番号:163; 223; 367; A3; A72; A192

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

トリメチルベンゼン(混合物)

有害液体物質(Y類)
 エチルベンゼン;酢酸 n-ブチル;キシレン(異性体混合物)

15.適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則特定化学物質第 2 類特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則第 2 種有機溶剤等

キシレン(異性体混合物);酢酸 n-ブチル

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);酢酸 n-ブチル;トリメチルベンゼン(混合物)

名称通知危険/有害物

エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);酢酸 n-ブチル;トリメチルベンゼン(混合物)

別表第 1 危険物(第 1 条、第 6 条、第 15 条関係)

危険物・引火性の物(0℃ ≤引火点 <30℃)

健康障害防止指針公表物質(法第 28 条第 3 項)

エチルベンゼン

化学物質管理促進(P R T R)法

第 1 種指定化学物質

09 年 10 月 PRTR 改正対応 1, 2, 4-トリメチルベンゼン	9.2%	政令番号(旧:-新:296)
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	1.5%	政令番号(旧:224 新:297)
キシレン	9.4%	政令番号(旧:63 新:80)
エチルベンゼン	11%	政令番号(旧:40 新:53)

消防法

第 4 類引火性液体第 2 石油類非水溶性液体 危険等級Ⅲ

化審法

優先評価化学物質

エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物)

悪臭防止法

キシレン(異性体混合物)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第 9 次答申)

エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物)

船舶安全法

引火性液体分類 3

航空法

引火性液体分類 3

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン(異性体混合物)

16.その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
 Classification,labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECN06182012)
 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US D O T)
 2016 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012 年)

JIS Z 7252 (2014 年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/info rmation

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料。情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。